

「物理教育」投稿規程

1 投稿の種別および掲載

会誌に投稿できるのは本学会員（名誉会員，正会員，賛助会員）の資格を有する者に限ります。共著者に非会員を含めることは可能ですが，筆頭著者（投稿者）は会員でなくてはなりません。なお入会申請中も投稿可能ですが，審査は入会が認められた後に行われます。

本学会誌の投稿原稿の種別には次のものがあります。

種別A ①研究論文 ②研究報告 ③論説 ④研究短報 ⑤私の工夫・私の実践

種別B ⑥日々の試行・取組 ⑦談話室 ⑧ワンポイント ⑨図書紹介 ⑩製品紹介 ⑪会員の声

種別C ⑫コメント

これらのうち，種別Aはいずれも査読審査を経て掲載される学術論文です。種別Cも査読審査を経て掲載されます。いずれも物理教育の視点から読者の興味に合致し掲載に値するものである必要があります。種別Bは閲読のうえ掲載されますが，営利目的のもの，特定の個人・団体の名誉を傷つけるもの，国際的な問題を生じる恐れの高いもの，読者にとって価値が乏しいと判断されるものについては掲載をお断りすることがあります。投稿原稿の採否は編集委員会で決定されます。

種別 A	摘 要	ページ数	備 考
①研究論文	◇ 物理教育に関するはっきりとしたオリジナリティを主張する論文で十分な考察が行われているもの	刷り上がり 8ページまで	抄録を付ける
②研究報告	◇ 教育指導等の進展に寄与すると思われる新規な教育実践の報告 ◇ 新規に開発した実験・器具・教材等の報告 (教育実践ないし試行を伴ったものが望ましい) ◇ 物理教育に新規かつ重要な情報を提供する資料調査，実地調査または実験データに関する報告（科学史研究を含む） ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈等 (教育上の意義が明瞭で，教育実践を伴ったものが望ましい)	刷り上がり 6ページまで	抄録を付ける
③論説	◇ 教育に関する新規かつ優れた提案・比較検討等 ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈，優れた主張・解説で物理教育の視点から読者の興味に合致する論説	刷り上がり 6ページまで	抄録を付ける
④研究短報	◇ 新規性の高い実験・器具・教材等の開発報告 ◇ 新規な実験データおよび考察 ◇ 物理の理論や現象に関する新規な解釈等	刷り上がり 4ページまで	
⑤私の工夫・私の実践	◇ 物理教育に関する工夫，授業実践の報告	刷り上がり 4ページまで	

※ 著者・勤務先・勤務先住所を執筆者毎に1行で記してください。（現在，勤務先のない方は，所属団体または旧勤務先と読者の問い合わせ先住所をお書きください。）

※ ページ数は刷り上がりページ数の上限です。上限値にかかわらず，冗長な表現を避け，できるだけページ数を抑えるようにしてください。

※ ①～③には，抄録（内容の要約250字以内）を付けてください。

※ 原稿の最初のページは①～③：25字×30行（2段組），④～⑤：25字×37行（2段組），2ページ以降は25字×45行（2段組）の書式で作成してください。詳しくは「**6** 原稿について(4) ページ割り振り」を参照してください。

種別 B	摘 要	字数
⑥日々の試 行・取組	◇ 物理教育に関する試行等 ◇ 物理教育に資することを目的とする活動や取組等	刷り上がり 4 ページまで 種別A ④～⑤の原稿の書式に準じる
⑦談話室	◇ 物理教育に関する種々の提案・意見等 ◇ 物理に関する話題提供や提案 ◇ 教育制度・環境・試験に関する意見等 ◇ 物理教育に関する気軽な発言・呼び掛け	刷り上がり 2 ページまで 種別 A ④～⑤の原稿の書式に準じる
⑧ワンポイント (One Point)	◇ 授業等での生徒の意外な反応 ◇ 授業を進める上でのヒント ◇ その他、話の種等	本文 25 字×75 行以内
⑨図書紹介	◇ 物理・物理教育に関わる優れた書籍の紹介 ◇ 物理・物理教育等の新刊情報 本誌で未紹介のもの 1 回に限ります。 (著者・出版社からの投稿も可。)	書籍紹介は 本文25字×75行以内 新刊情報は 本文25字×15行以内
⑩製品紹介	◇ 実際に試用し、物理教育に大変有用と判断した 製品(実験器具、測定器、素子、コンピュータ 周辺機器、ソフト等)の紹介	本文 25 字×75 行以内
⑪会員の声	◇ 掲載論文・記事に対する意見、本会に対する意見・ 要望、教育に関する話題の提供や意見等	本文 25 字×75 行以内

※ 字数等は原則としての上限です。上限値にかかわらず、冗長な表現を避け、できるだけ短い原稿に書き上げてください。

※ 図書紹介は、著者名、書名、判型、ページ数、出版社、定価、(対象読者)、内容の概要等をお書きください。第三者推薦の場合には所属、氏名を末尾にお書きください。

※ 製品紹介は、製品名称、発売元、価格、入手方法、使用例や活用例(できるだけ図・表・データを添えて)等をお書きください。

※ ワンポイントは主に空いたスペースを埋めるのに使わせていただきますので、掲載が遅れる場合もあります。

種別 C	摘 要	ページ数
⑫コメント	◇ 掲載論文に対する批判・議論(誤りの指摘、引用すべき重要な先行研究の指摘等)	刷り上がり 2ページまで。種別 A ④～⑤の原稿の書式に準じる

※ 本会会誌に掲載された論文に対する異論・批判を含む投稿論文は「コメント」として扱い、原論文の著者(原著者)に提示します。原著者は、編集委員会に対して意見を提出すること、さらに、希望があれば当該論文に対する「応答」を提出することができるものとします。ただし、この「応答」も編集委員会が査読して採否を判断します。「コメント」や「応答」の審査には、他の投稿原稿の場合と比較して長い日数を要する場合があります。

2 執筆に当たって

表 題	和文35文字以内(原則として) 英文表題(内容を鑑み編集委員会で最終決定)	内容のポイントを表現するのに必要かつ最小限の簡潔なものにすること。(同一題目での第2稿を予定されている場合にも、第2稿以降の掲載は未定ですので、「その1」等の表現は
-----	--	--

		避けてください。)
抄録	種別 A ①～③の場合 250 字以内	抄録は書き出し文ではなく、 <u>要約(紹介)文</u> です。キーワード検索にかかるよう、論文のキーワードを抄録中に網羅するように配慮してください。
本文	種別 A の場合 最初のページ ①～③：25 字×30 行(2 段組) ④～⑤：25 字×37 行(2 段組) 第 2 ページ以降 25 字×45 行(2 段組)	テーマとしている問題の難易にかかわらず、「何を問題にして、どういうことを行い、その結果どういう結論に達したか」の起承転結が読者に読み取れるよう、明解に書くことが基本条件です。 問題点を絞らずに、あれもこれも盛り沢山に書きますと、主張が不明瞭になり、せっかくの研究の主旨・成果が伝わらず、著者にとっても、読者にとっても価値のないものとなってしまいます。本文の主旨が誤解なく読者に伝わるよう、必要かつ十分な事柄を、できるだけわかりやすくお書きください。
引用文献	著者名：誌名巻-号(年)始ページ-終ページ 〈例〉 山田太郎：物理教育 47-1 (1999) 25-30.	先行研究については十分に調べ、そこからの発展や研究のオリジナリティを明瞭にしてください。その際(他者の研究を引用する際)、 <u>引用箇所に通し番号を付し、末尾に著者、誌名等をまとめて列記してください。</u>

なお執筆にあたっては次の文献を参照される事を推奨します。(J-Stageで参照可能)

霜田光一：『学会誌「物理教育」の原稿を良くするために』物理教育 52-4 (2004) 293-295.

3 投稿に当たって

- (1) 投稿票に必要事項をご記入の上、原稿と共に電子メールに添付してお送りください。
- (2) 受理後の、原稿の書き換えは、編集委員会からの意見による修正以外はできません。著者校正等で内容の書き換えや図版等の差し換えが行われた場合は、掲載辞退の上の再投稿と判断し、再度、審査させていただくことがあります。
- (3) 審査料はいただいております。
- (4) 種別A の投稿原稿の掲載は原則として有料(刷り上がり1 ページにつき10,000 円)です。ただし、筆頭著者1 名につき、各巻(1号から4号までの合計)、刷り上がり計12 ページまでは掲載料をいただいております。(例. 1号で8ページ、4号で6ページ掲載の場合、2ページ分の掲載料20,000円を申し受けます。)なお、各種別の刷り上がりページ数上限は厳守いただくことになっており、掲載料をお支払いいただいてもページ数を超過することはできません。
(注) 依頼原稿(企画応募論文を含む)、および種別B、Cの投稿原稿については掲載料をいただきません。
- (5) 著者校正は初校のみです。(その際、ゲラ刷りしか送り返しませんので、必ず、『原稿の控え』を保存しておいてください。)
- (6) 別刷りはすべて有料です。(料金は初校のときにお送りする別刷り申込書参照。)

4 審査について

- (1) 審査員制度とは審査員が読者を代表して、投稿された論文を様々な視点から検討し、読者にとって有益な報告を精選して掲載する制度です。
- (2) 原稿の掲載は、編集委員会(3ヶ月毎に開催)で複数の審査意見を参考に審議決定します。結果は指定された電子メールアドレス宛てに連絡いたします。
(注) 理事も含め編集委員は専従ではありませんので、掲載の可否決定まで、投稿後日数を要することもあることを、あらかじめご了承ください。(なお、審査結果に関する事務局への電話での問い合わせには応じかねます。)
- (3) 返却となった場合、判定への反論を添えて再投稿することができます。(「コメント」と「応答」を除く。)
(注) 著者と編集理事あるいは編集委員会との意見交換は、その論文ないし報告をより優れたもの、すなわち「読者にも理解しやすく有益なものにして、著者の意図が的確に伝わり、正当な評価を得るようなもの」にするためのもので、著者の一方的な自己評価に基づいた交渉には応じかねます。

5 同一著者の同一号掲載の制限

同一号に掲載する原稿の審査は、筆頭著者が同じ場合、原則として種別A、種別B(ワンポイントを除く)、種別Cにそれぞれ1編までとさせていただきます。(各号ごとに、各種別1編まで審査を受けられます。ワンポイントは掲載号がはっきりとは決まりませんので、同じ号に同じ著者からの原稿が複数掲載される場合があります。)

6 原稿について

(1) 見出し

◇見出しは次のようお願いします。

1. ○○○○○○○○	ゴチ指定 (2行どり, 中央揃え)
1.1 ○○○○○	ゴチ指定 (1行どり)
1.1.1 ○○○○○	ゴチ指定 (1行どり)

(2) 本文指定

◇見出しや強調したい箇所は、ゴシック(太字)にする。

◇単位記号、数学定数 (e, π , 虚数単位 i), 演算 (log, ln, sin, cos, exp, lim, d (微分), δ (変分), Δ , ∇ ···) の記号はローマン(立体文字)とする。

◇物理量を表す記号、変数はイタリック(斜体)とする (一例としてGeorgiaフォント斜体等)。

◇gと*g*, vと*v*, wと*w*等とは文字やフォントの指定にご注意ください。

◇ベクトル表示はボールドイタリック表示とする。

◇数値の後の単位には括弧を用いず、数値と単位の間には半角スペースを挿入する。(例 1.2 cm)

◇単位は、原則としてSI単位を使用してください。

(3) 図(写真・グラフ・描画)および表

◇図(写真・グラフ・描画)および表は、本文中に挿入してください。

◇本誌は白黒の刊行物ですので、図(写真・グラフ・描画)はそれを前提に作成してください。J-Stageへはカラーでの掲載が可能なので、カラーの図版を使用できますが、白黒印刷で意味や内容のわかる図版にしてください。また、図版で使用した色については、会誌では読み取れないことに注意してください。

◇図(写真・グラフ・描画)と表には、キャプションを付けてください。色に依存した説明は避けてください。

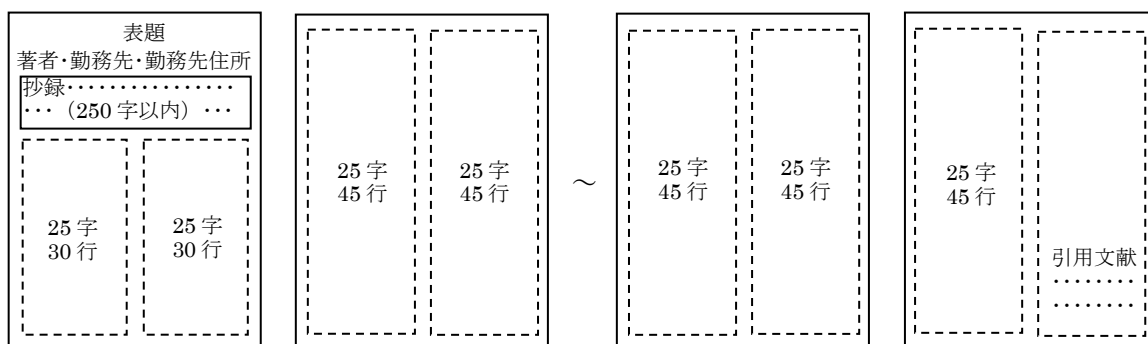
◇生徒が写っている写真や、生徒のプリントを掲載する場合は、必ず対象者全員から承諾を得てください。

◇写真は掲載サイズで300 dpi 以上が必要です。図版や写真は本文挿入前の、オリジナルファイルを提出していただく場合があります。

(4) ページ割り振り

種別Aの抄録付き原稿の刷り上がりの体裁を以下に示します。(抄録がない原稿は、最初のページが25字×37行の2段組となります。)最終ページ最後の2行には、受付日のスペースを空けてください。

最後のページに大きな余白が生じないように、できるだけ配慮してください。なお、最終ページに余白がある場合には、本文と関係ない記事等を載せることがあります。



7 原稿と投稿票の送付先

原稿はWordまたは一太郎で作成し、投稿票 (<http://pesj.jp/publication> よりダウンロードできます) と共に以下のいずれかの方法でお送りください。(投稿規程に合わせたWordファイルの原稿雛型も、上記URLよりダウンロードできます。)

1. 電子メールの場合：件名を「投稿原稿の種別 筆頭著者氏名」とし、Wordまたは一太郎のファイルと変換して体裁を確認したPDFファイル、および投稿票を添付ファイルとして下記アドレス submit@pesj.jp にお送りください。なお、送信する電子メールの大きさはおおよそ5MB以内を目安としてください。
2. 郵送の場合：原稿と投稿票の入ったCD/DVDまたはUSBメモリと共に、原稿と投稿票を印刷したものもお送りください。(お送りいただいたCD/DVDまたはUSBメモリは、原則として返却いたしません。)

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル5F

日本物理教育学会事務局 会誌編集委員会